

「産廃チェック制度」の実施状況（平成 26 年度）

1 制度の周知状況

- 3月 「3Rのススム」((一社) 京都府産業廃棄物 3R 支援センター発行のニューズレター) に 9 事業場を優良認定した旨の記事の掲載
- 4月 「廃棄物管理責任者」事務説明会 (2回) で紹介 (計 147 社, 165 名)
- 6月 チラシ等の個別送付 (約 1,000 事業場*)
- ※ 認定対象事業場以外の約 700 事業場にも送付
- 京都工業会「京都環境管理研究会」で紹介 (35 社, 43 名)
- 9月 京都府産業廃棄物 3R 支援センター「ゼロエミ講習会」で紹介 (40 名)
- K E S 環境機構にチラシ配付の協力依頼

2 認定申請・審査の状況

区分	件数	備考
申請件数	23 (㊟ 12)	23 件のうち㊟認定事業場が 8 件
認定件数	審査中 (㊟ 9)	全件の審査終了後、同時に認定する予定

3 今後の予定 (㊟と同様)

- 12月 審査終了, 結果通知
- 2月 広報発表, 市HPに公表
- 3月 認定, 認定証授与式 (「第 15 回環境フォーラムきょうと」で実施)

4 事業場の反応等

(チェックシート)

- ・ 「チェックシートの提出は義務なのか。」
- ・ 「処理の状況を確認しているかどうかという欄があるが、これを義務化する予定はないのか。」
- ・ 「法令のごく基本的な基準をチェックするシートのほかに、別途、現場の担当者が判断に迷うような事項についてQA集などを作らないのか。」

(認定申請)

- ・ 排出頻度等の申請要件を満たさない事業場からの申請が見受けられた。
- ・ 一つの会社の複数の店舗がそれぞれ申請するケースがあった。
- ・ 初年度に認定に至らなかった事業場から申請があった。(2件)

(審査, 実地調査)

- ・ 「業界の中で環境関連の賞を受けたが、チェック制度への取組も一役買っていると思う。」(昨年度の認定事業場)
- ・ 「認定のステッカーに対して取引先が反応してくれることがある。」(昨年度の認定事業場)